

企画展

138億光年 宇宙の旅



驚異の美しきで迫る宇宙観測のフロンティア

2021
2.6(土) - 3.21(日)

開館時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日

観覧料 一般 410(330)円 高大生 200(160)円 中学生以下無料

*()内は20名以上の団体料金

新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて、記載内容の変更や入場制限を行う場合があります。
最新の状況はホームページまたは電話でご確認下さい。ご来館の際は、感染防止にご協力ください。

主催 米沢市上杉博物館

監修 渡部潤一(国立天文台 副台長)

協力 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台
富士フィルム株式会社

後援 山形新聞 山形放送

企画制作 クレヴィス

企画協力 岡本典明(サイエンスライター)

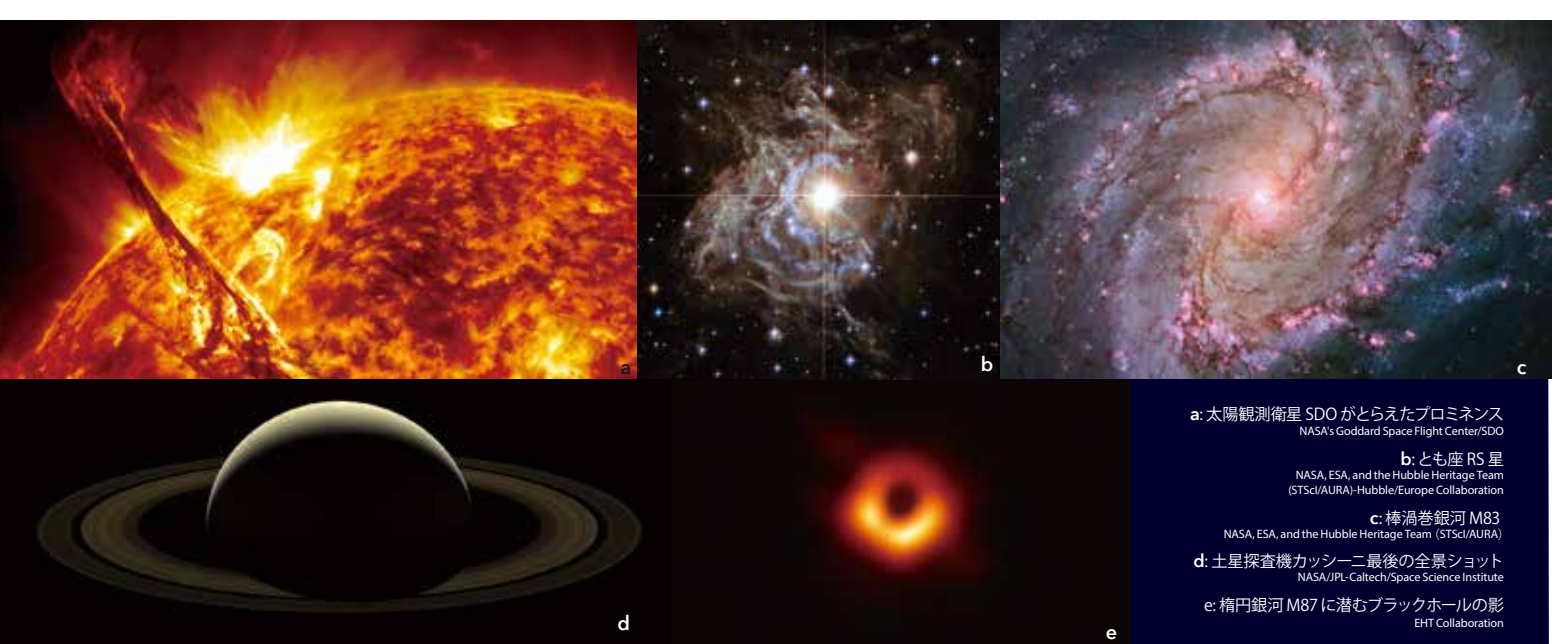
模型展示協力:JAXA

月探査機ルナ-リコネッサンス・オービターがとらえた「地球の出」

NASA/Goddard/Arizona State University



伝国の杜 米沢市上杉博物館



a: 太陽観測衛星 SDO がとらえたプロミネンス
NASA's Goddard Space Flight Center/SDO

b: とも座 RS 星
NASA, ESA, and the Hubble Heritage Team
(STScI/AURA)-Hubble/Europe Collaboration

c: 棒渦巻銀河 M83
NASA, ESA, and the Hubble Heritage Team (STScI/AURA)

d: 土星探査機カッシーニ最後の全景ショット
NASA/JPL-Caltech/Space Science Institute

e: 楕円銀河 M87 に潜むブラックホールの影
EHT Collaboration

創立から60年余り、宇宙開発や天体観測に偉大な功績を残してきた NASA —アメリカ航空宇宙局。本展では、NASA の画像を中心に、惑星探査機や観測衛星、宇宙望遠鏡等がとらえた美しく驚異的な天体写真を選びすぐってご紹介します。太陽系から、銀河系内の星雲や星団、そしてさらにその先にある無数の銀河や銀河団など多様な天体の姿をご覧ください。あわせて、すばる望遠鏡、アルマ望遠鏡など国立天文台関連の大型望遠鏡による観測画像もコーナー展示します。サイエンスでありながらアートのように人々を魅了する美しい画像から、宇宙の謎や神秘を紐解く人間の英知や科学技術の発展、そして私たちの住む地球の奇跡をご体感ください。

トークイベント

「惑星探査・天文学の最前線」

日本を代表する3名の研究者を迎え、それぞれの分野から惑星探査、宇宙開発そして天文学の最前線について紹介していただきます。

3/14 (日) 14:00 ~ 16:00 伝国の社 置賜文化ホール
定員: 250名
入場無料 (全席指定・要事前申込)

申込方法

★1月6日(水) 9:00より電話・窓口で申込受付いたします。Tel 0238-26-8001

- ・先着順で受付し、定員になり次第締め切らせていただきます。受付後、3月5日までに当館から座席番号を記載したはがきを送付します。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、間隔をあけてお座りいただきます。
- ・座席希望はお受けできませんのでご了承ください。

渡部潤一氏 × 本間希樹氏 × 上杉邦憲氏
国立天文台 副台長 国立天文台水沢VLBI 観測所 教授/所長
本展監修者



渡部潤一
[国立天文台 副台長]

自然科学研究機構国立天文台天文情報センター教授・副台長、総合研究大学院大学物理科学研究科天文科学専攻教授。1960年、福島県生まれ。1983年、東京大学理学部天文学科卒業。1988年、東京大学にて学位取得(理学博士)。国立天文台広報普及室長、国立天文台天文情報センター長などを経て現職。専門は太陽系小天体(彗星、小惑星、流星など)の観測的研究。国際天文学連合(IAU)では惑星定義委員として準惑星という新たなカテゴリーをつくり、冥王星をその座に据えた。2018年、国際天文学連合副会長に就任。



本間希樹
[国立天文台教授]

自然科学研究機構国立天文台教授、同水沢 VLBI 観測所の所長(併任)。1971年米国生まれ、神奈川県育ち。1999年、東京大学大学院理学系研究科天文学専攻を修了し博士号を取得。その後、国立天文台助教、准教授を経て現職。専門は電波天文学で、超長基線電波干渉計(VLBI)の技術を用いて天の川銀河やブラックホールの研究を進めている。2019年にブラックホール撮影に成功した国際プロジェクト EHT では日本側代表を務める。祖先は佐渡中興本間氏で、天正の佐渡攻めでは上杉景勝に味方し、同じ一族から上杉家臣田澤根氏が出ている。



上杉邦憲
[JAXA名誉教授
上杉家当主・当館名誉館長]

宇宙航空研究開発機構(JAXA)名誉教授、北海道宇宙科学技術創成センター理事長。1943年東京都生まれ。1966年東京大学工学部航空学科卒業。1968年東京大学宇宙航空研究所助手。同助教授、文部省宇宙科学研究所教授、JAXA 教授等を経て現職。工学博士。専門は宇宙航行力学、システム工学。ハレー彗星探査機「さきがけ」、「すいせい」、月スイングバイ衛星「ひてん」、小惑星探査機「はやぶさ」等を開発。内閣府宇宙政策委員会宇宙産業・科学技術基盤部会委員。旧米沢藩上杉家第17代当主。

同時展示 ☆ 小惑星探査機「はやぶさ」、小惑星「イトカワ」の模型も展示します。(模型展示協力: JAXA)

ギャラリートーク 要申込・入館料 ※1/6(水)より申込受付

◆2/6(土)10:00 ~ 10:30 定員 20名
展覧会のみどころ案内(当館学芸員)

ワークショップ 参加費: 500円 ※1/27(水)より申込受付

◆2/21(日)13:30 ~ 15:30
ハニカムシートで宇宙モビルをつくろう
小中学生 10名

◆2/26(金)19:00 ~ 20:30
ナイトツアー 138 億光年 宇宙の旅へ出発!
どなたでも 10名(中学生以下保護者同伴)

◇次回 2021年4月17日(土) ~ 6月20日(日) <予定>
展覧会 開館 20周年記念特別展 上杉鷹山(仮)

博物館★児童会館 宇宙スタンプラリー

会期中、米沢市上杉博物館「138 億光年 宇宙の旅」と米沢市児童会館プラネタリウム鑑賞の両方でスタンプを集めよう! 先着で、宇宙グッズまたはミュージアムグッズをプレゼント。

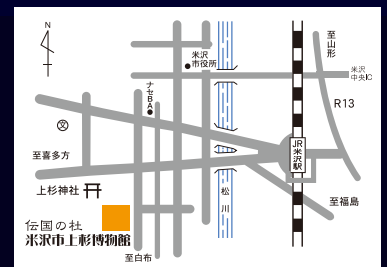
- *学校など団体利用の場合は除きます。
- *プラネタリウム上映日は会期中の土日祝日です。(入場は4歳以上)
- *都合により、変更中止する場合があります。
- *米沢市児童会館 0238-23-0161

◇置賜文化ホールからのお知らせ (チケット発売中 0238-26-2666)

ライブ@ホールでジャズ!

2月28日(日) 15:00開演 全席指定 前売1,500円

【伝国の社ファンクラブ会員・サポーターメンバー募集中】
■ファンクラブ...もっと楽しみたい方に!特典いろいろ。
■サポーター...人とながる自分をいかせるボランティア。



- JR米沢駅から2km(上杉神社隣接)
- 市内循環バス「上杉神社前」下車
- 市内循環バス南回り路線「九里学園前」下車
- 東北中央自動車道 米沢中央ICから約4km

f t YouTube 米沢市上杉博物館

米沢市上杉博物館

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660

HP <https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>